

妙法蓮華經。 信解品。 第四

にーじー エーみょうしゅぼーだい まーかーかーせんねん まーかーかーしょう まーかーもっけんれん じゅつぶつしよもん
 爾時。 慧命須菩提。 摩訶迦旃延。 摩迦訶葉。 摩訶目犍連。 從佛所聞。
 みぞうーほう せーそん じゅ(しゃり)ほつ あーのくたーらーさんみやくさんぼーだいきー ほつけーうーしん かんぎーゆー
 未曾有法。 世尊。 授舍利弗。 阿耨多羅三藐三菩提記。 發希有心。 歡喜踊
 やく そくじゅつびきー しょうえーぶく へんだんうーけん うーしつぢやくぢー いっしんがっしょう こくくうーぎよつ
 躍。 卽從座起。 整衣服。 偏袒右肩。 右膝著地。 一心合掌。 曲躬恭敬。
 せんこうそんげん にーびやくぶつこん がーとうこーそつしーしゅ ねんびようくーまい じーいーいとくねーはん むーしよかん
 瞻仰尊顏。 而白佛言。 我等居僧之首。 年竝朽邁。 自謂已得涅槃。 無所堪
 にん ふーぶーしんぐー あーのくたーらーさんみやくさんぼーだい せーそん おうしゃく セツぼうきーくー がーじーざいぎー
 任。 不復進求。 阿耨多羅三藐三菩提。 世尊。 往昔。 說法既久。 我時在座。
 しんたいひーけー たんねんくう むーそつむーさー おーぼーさつぼつ ゆーけーじんつう じょうぶつこくどー じょうじゅしゅ
 身體疲懈。 但念空。 無相無作。 於菩薩法。 遊戲神通。 淨佛國土。 成就衆
 じょう しんぶーきーぎょう しょういーしゃがー せーそんりょうがーとう しゅつとーさんがい とくねーはんししょう うーこんがー
 生。 心不喜樂。 所以者何。 世尊令我等。 出於三界。 得涅槃證。 又今我
 とう ねんこーくーまい おーぶつきょうけーぼーさつ あーのくたーらーさんみやくさんぼーだい ふーしよついちねん こう
 等。 年已朽邁。 於佛教化菩薩。 阿耨多羅三藐三菩提。 不生一念。 好
 ぎょうしーしん がーとうこんろーぶつぜん もんじゅしょうもん あーのくたーらーさんみやくさんぼーだいきー しんじんかんぎー
 樂之心。 我等今於佛前。 聞授聲聞。 阿耨多羅三藐三菩提記。 心甚歡喜。

とくみぞつう 得未曾有。 ふーいーおーこん 不謂於今。 こつねんとくもん 忽然得聞。 けーうーしーほう 希有之法。 じんじーきようこつ 深自慶幸。 ぎやくだいぜんりー 獲大善利。
 むーりようちんぼう 無量珍寶。 ふーくーじーとく 不求自得。 せーそん 世尊。 がーとつこんじや 我等今者。 ぎようせつひーゆー 樂說譬諭。 以明斯義。 ひーにやくうーにん 譬若有人。
 ねんきーようちー 年既幼稚。 しゃぶーじようぜい 捨父逃逝。 くーじゆうたーこく 或十二。 しーごーじっさい 至五十歲。 ねんきーちようだい 年既長大。
 かーぶーくつこん 加復窮困。 ちーちようしーほう 馳騁四方。 以ーくーえーじき 以求衣食。 ぜんぜんゆーぎよう 漸漸遊行。 ぐつこつほんこく 遇向本國。 其父先來。
 ぐーしーぶーとく 求子不得。 ちゆうしーいちじよう 中止一城。 其家大富。 さいほうむーりよう 財寶無量。 こんこんるーりー 金銀瑠璃。 さんこーこーはく 珊瑚琥珀。
 はーりーしゅとつ 頗黎珠等。 其諸倉庫。 しっかいよういつ たーうーどうぼく 悉皆盈溢。 多有僮僕。 じんさーりーみん 象馬車乘。 ぞつめーしゃじよう 牛羊無
 數。 出入息利。 乃徧佗國。 しょうごーこーきまぐ 商估賈客。 亦甚衆多。 やくじんしゅたー 時貧窮子。 ゆーしよじちらく 遊諸聚落。
 きようりやつくくおつ 經歷國邑。 すいとつこーぶー 遂到其父。 しょしーしーじよう 所止之城。 ぶーまいねんしー 父每念子。 よーしーりーべつ 與子離別。 こーじゆうようねん 五十餘年。
 にーみーぞつこうにん 而未曾向人。 せつによしーじー 說如此事。 たんじーしーゆい 但自思惟。 しんネーけーこん 心懷悔恨。 じーねんろうくー 自念老朽。 たーうーざいもつ 多有財物。
 こんこんちんぼう 金銀珍寶。 そうごーよういつ 倉庫盈溢。 むーうーしーそく 無有子息。 いつたんじゆうもつ 一旦終沒。 ざいもつさんしつ 財物散失。 むーしよいーぶー 無所委付。 ぜーいーおん 是以慙

ごん まいおくこーしー ぶーざーぜーねん がーにやくとくしー いーふーざいもつ たんねんけーらく むーぶーうーりよ せーそん
勤。每憶其子。復作是念。我若得子。委付財物。坦然快樂。無復憂慮。世尊。

にーじーくうじー ゆうにんてんでん ぐうとうぶーしーや じゆうりゆうもんそく ようけんこーぶー こーしーしーじよう
爾時窮子。傭賃展轉。遇到父舍。住立門側。遙見其父。踞師子牀。

ほうきーじゅうそく しよ(ばら)もん セツりーこーじー かいくーぎょういーにやう いーしんじゆようらく けーじきせんまん
寶几承足。諸婆羅門。刹利居士。皆恭敬圍繞。以眞珠瓔珞。價直千萬。

じゅうごんこーしん りーみんどうぼく しゆしゆびやくほつ じーりゆうさーうー ふーいーほうちやう すいしよけーばん
莊嚴其身。吏民僮僕。手執白拂。侍立左右。覆以寶帳。垂諸華旛。

こうすいしやぢー さんしゆみようけー らーれつほうもつ すい又いしゆよー うーによぜーとう しゆじゆごんじき いーとくとく
香水灑地。散衆名華。羅列寶物。出内取與。有如是等。種種嚴飾。威德特

そん ぐうじーけんぶー うーだいきせい そくえーくーふー けーらいしーしー セツさーぜーねん しーわくぜーおう
尊。窮子見父。有大力勢。卽懷恐怖。悔來至此。竊作是念。此或是王。

わくぜーおうとう ひーがーゆうりき とくもツしーしよ ふーによおうしーびんりー しーりきうぢー えーじきいーとく
或是王等。非我傭力。得物之處。不如往至貧里。肆力有地。衣食易得。

にやツくーじゆうしー わツけんひツぱく こうしーがーさー さーぜーねん二ー シツそつにーこー じーふーちようじや
若久住此。或見逼迫。強使我作。作是念已。疾走而去。時富長者。

おーしーしーぎー けんしーべんしき しんだいかんぎー そくさーぜーねん がーざいもつこーぞう こん又ーしよぶー
於師子座。見子便識。心大歡喜。卽作是念。我財物庫藏。今有所付。

がーじょうしーねんしーしー むーゆーけんしー にーこつじーらい じんしゃくがーがん がーすいねんくー ゆーこーとんじやく
我常思念此子。無由見之。而忽自來。甚適我願。我雖年朽。猶故貪惜。

そっけんぼつにん きゅつついでしやうげん にーじーしーしゃ しつそうおうしやく くうじーきようがく しやうおんだいかん
 即遣傍人。急追將還。爾時使者。疾走往捉。窮子驚愕。稱怨大喚。
 がーふーそうほん がーいーけんしやく しーしゃ しつしーゆーきゅう こつげんしやうげん うーじーべうじー じーねんむーざい
 我不相犯。何爲見捉。使者。執之愈急。強牽將還。于時窮子。自念無罪。
 にーひーじゅしゅう しーひつじゅうしー てんぎやうおうぶー もんぜつびやくちー ぶーようけんしー にーごーしーこん
 而被囚執。此必定死。轉更惶怖。悶絕躡地。父遙見之。而語使言。
 ふーしゅしーにん もつこつしやうちひ いーりやうすいしやめん りやうとくしやうこー まくぶーよーこー しよーいしやがー
 不須此人。勿強將來。以冷水灑面。令得醒悟。莫復與語。所以者何。
 ぶーちーごーしー しーいーげれつ じーちーごうきー いーしーしよなん しんちーぜーしー にーいーほうべん ふーごーたーにん
 父知其子。志意下劣。自知豪貴。爲子所難。審知是子。而以方便。不語佗人。
 うんぜーがーしー しーしゃごーしー がーこんほうによ ずいーしよしゆ べうじーかんぎー とくみーぞううー じゅうぢーにー
 云是我子。使者語之。我今放汝。隨意所趣。窮子歡喜。得未曾有。從地而
 きー おうしーびんりー いーぐーえーじき にーじーちよつじや しやうよくゆーいんこーしー にーせつほうべん みつげんにーにん
 起。往至貧里。以求衣食。爾時長者。將欲誘引其子。而設方便。密遣二人。
 ぎやうしきじよすい むーいーとくしや によかーけいひー じよーこーべうじー しーうーざーしよ ばいよーによじき
 形色憔悴。無威德者。汝可詣彼。徐語窮子。此有作處。倍與汝直。
 べうじーにやっこー しちうたいしーきー にやくこんよくがーしよざー べんかーごーしー こーによじよぶん がーとつにーにん
 窮子若許。將來使作。若言欲何所作。便可語之。雇汝除糞。我等二人。
 やくべーによざー じーにーしーにん そくべうべうじー きーいーとくしー ぐーじんじようじー にーじーべうじー せんしゆこー
 亦共汝作。時二使人。即求窮子。既已得之。具陳上事。爾時窮子。先取其

價。尋與除糞。其父見子。愍而怪之。又以佗日。於窗牖中。遙見子身。

嬴瘦憔悴。糞土塵坌。汗穢不淨。即脫瓔珞。細軟上服。嚴飾之具。

更著麤弊。垢膩之衣。塵土坌身。右手執持。除糞之器。狀有所畏。

語諸作人。汝等勤作。勿得懈怠。以方便故。得近其子。後復告言。咄男子。

汝常此作。勿復餘去。當加汝價。諸有所須。盆器米麪。鹽酢之屬。莫自疑

難。亦有老弊使人。須者相給。好自安意。我如汝父。勿復憂慮。所以者何。

我年老大。而汝小壯。汝常作時。無有欺怠。瞋恨怨言。都不見汝。

有此諸惡。如餘作人。自今已後。如所生子。即時長者。更與作字。

名之爲兒。爾時窮子。雖欣此遇。猶故自謂。客作賤人。由是之故。於

二十年中。常令除糞。過是已後。心相體信。入出無難。然其所止。

猶在本處。世尊。爾時長者。有疾自知。將死不久。語窮子言。我今多有金銀珍寶。倉庫盈溢。其中多少。所應取與。汝悉知之。我心如是。當體此意。所以者何。今我與汝。便爲不異。宜加用心。無令漏失。爾時窮子。卽受教敕。領知衆物。金銀珍寶。及諸庫藏。而無怖取。一餐之意。然其所止。故在本處。下劣之心。亦未能捨。復經少時。父知子意。漸已通泰。成就大志。自鄙先心。臨欲終時。而命其子。并會親族。國王大臣。刹利居士。皆悉已集。卽自宣言。諸君當知。此是我子。我之所生。於某城中。捨吾逃走。伶俚辛苦。五十餘年。其本字某。我名某甲。昔在本城。懷憂推覓。忽於此間。遇會得之。此實我子。我實其父。今吾所有。一切財物。皆是子有。先所出內。是子所知。世尊。是時窮子。

もんぶーしーこん そくだいかんぎー とくみーぞうつー にーさーぜーねん がーほんむーしん うーしよけーぐー こんしーほうぞう
 聞父此言。即大歡喜。得未曾有。而作是念。我本無心。有所怖求。今此寶藏。
 じーねんにーしー せーそん だいふーちようじや そくぜーによらい がーとつかいじーぶつしー によらいじようせつ
 自然而至。世尊。大富長者。則是如來。我等皆似佛子。如來常說。
 がーとういーしー せーそんがーとう いーさんくーこー おーしようじーちゆう じゆしよねつのもう めいわくむーちー
 我等爲子。世尊我等。以三苦故。於生死中。受諸熱惱。迷惑無知。
 きようちやくくしよつぽつ こんにちせーそん りようがーとつしーゆい けんじよしよほう けーろんしーぶん がーとうおーちゆう
 樂著小法。今日世尊。令我等思惟。蠲除諸法。戲論之糞。我等於中。
 こんかーししようじん とくしーねーはん いちにっしーけー きーとくしーいー しんだいかんぎー じーいーいーそく べんじーいー
 勤加精進。得至涅槃。一日之價。既得此已。心大歡喜。自以爲足。便自謂
 こん おーぶつぽつちゆう こんしよつじんこー しよとくぐーたー ねんせーそん せんちーがーとう しんぢやくへいよく
 言。於佛法中。勤精進故。所得弘多。然世尊。先知我等。心著弊欲。
 きようちやくくしよつぽつ べんけんじゆうしや ふーいーぶんべつ によとつとつうつー によらいちーけん ほうぞつしーぶん せーそん
 樂於小法。便見縱捨。不爲分別。汝等當有。如來知見。寶藏之分。世尊。
 いーほうべんりき せつによらいちーえー がーとうじゆうぶつ とくねーはん いちにっしーけー いーいーだいとく おー
 以方便力。說如來智慧。我等從佛。得涅槃。一日之價。以爲大得。於
 しーだいじよう むーうーしーぐー がーとつうーいん によらいちーえー いーしよぼーさつ かいじーえんぜつ にーじーおーしー
 此大乘。無有志求。我等又因。如來智慧。爲諸菩薩。開示演說。而自於此。
 むーうーしーがん しょいーしゃがー ぶつちーがーとう しんぎようしよつぽつ いーほうべんりき ずいがーとつせつ
 無有志願。所以者何。佛知我等。心樂小法。以方便力。隨我等說。

而我等不知。眞是佛子。今我等。方知。世尊。於佛智慧。無所恪惜。
 所以者何。我等昔來。眞是佛子。而但樂小法。若我等有。樂大之心。
 佛則爲我。說大乘。今此經中。唯說一乘。而昔於菩薩前。毀訾聲
 聞。樂小法者。然佛實以。大乘教化。是故我等。說本無心。有所悖求。
 今法王大寶。自然而至。如佛子所應得者。皆已得之。爾時摩訶迦葉。
 欲重宣此義。而說偈言

我等今日聞佛音教 歡喜踊躍得未曾有
 佛說聲聞當得作佛 無上寶聚不求自得
 譬如童子幼稚無識 捨父逃逝遠到佗土
 周流諸國五十餘年 其父憂念四方推求

求之既疲頓止一城造立舍宅五欲自娛
 其家巨富多諸金銀碑礫碼碯眞珠璫璃
 象馬牛羊輦輿車乘田業僮僕人民衆多
 出入息利乃徧佗國商估賈人無處不有
 千萬億衆圍繞恭敬常爲王者之所愛念
 群臣豪族皆共宗重以諸緣故往來者衆
 豪富如是有大力勢而年朽邁益憂念子
 夙夜惟念死時將至癡子捨我五十餘年
 庫藏諸物當如之何爾時窮子求索衣食
 從邑至邑從國至國或有所得或無所得

けーがーるいしめ たいしよそうせん ぜんしーきようりやく とつぶーじゆうじよう
飢餓羸瘦 體生瘡癬 漸次經歷 到父住城

ゆう にんでんでん すいしーぶーしゃ にーじーちようじゃ おーごーもんない
傭賃展轉 遂至父舍 爾時長者於其門内

せーだいほうちよう しよしーしーぎー けんぞくいーにようしよ にんじーえー
施大寶帳 處師子座 眷屬圍繞 諸人侍衛

わくうーけーさん こんこんほうもつ すい又いざいせん ちゆうきーけんじよ
或有計算 金銀寶物 出内財産 注記券疏

くうじーけんぶー ごうきーそんこん いーぜーこくおう にかくぜーおうとう
窮子見父 豪貴尊嚴 謂是國王 若是王等

きようぶーじーけー がーこーしーしー ふーじーねんこん がーにやっくーじゆう
驚怖自怪 何故至此 覆自念言 我若久住

わっけん ひっばく こつくーしーさー しーゆいぜーいー ちーそう にーこー
或見逼迫 強驅使作 思惟是已 馳走而去

しゃくもんびんりー よくおうゆうさー ちようじゃぜーじー ざいしーしーざー
借問貧里 欲往傭作 長者是時 在師子座

ようけんごーしー もくにーしきしー そくちよくしーしゃ ついしゃくしようらい
遙見其子 默而識之 卽敕使者 追捉將來

くつじーきようかん めいもんびやくちー ぜーにんしゆうがー ひつとう けんせつ
窮子驚喚 迷悶躡地 是人執我 必當見殺

何が用ゆう衣え食じき使し我が至し此こ 長ちやう者じゃ知ち子し 愚ぐ癡ち狹き劣やうれつ

不ふ信しん我が言ごん 不ふ信しん是ぜ父ふ 即そく以い方ほう便べん 更きやう遣う餘けん人よにん

眇みやう目もく矧ぎ陋る 無む威い德とく者しゃ 汝に可か語ご之し 云うん當とう相そう雇こ

除じよ諸しよ糞ふん穢ネ 倍ばい與よ汝に價け 窮ぐう子じ聞もん之し 歡かん喜ぎ隨ず來らい

爲い除じよ糞ふん穢ネ 淨じやう諸しよ房ぼう舍しゃ 長ちやう者じゃ於お牖ゆう 常じやう見けん其ご子し

念ねん子し愚ぐ劣れつ 樂ぎやう爲い鄙ひ事じ 於お是ぜ長ちやう者じゃ 著ぢやく弊へい垢く衣え

執しつ除じよ糞ふん器き 往おう到とう子し所しよ 方ほう便べん附ふ近こん 語ご令りやう勤こん作さ

既き益やく汝に價け 并びやう塗づ足そく油ゆ 飲おん食じき充じゆ足うそく 薦せん席じやく厚こう暖なん

如に是ぜ苦く言ごん 汝に當とう勤こん作さ 又う以い軟なん語ご 若に如やく我が子し

長ちやう者じゃ有う智ち 漸ぜん令りやう入に出しゆつ 經きやう二に十じゆ年うねん 執しつ作さ家け事じ

示其金銀眞珠頗黎諸物出入皆使令知
猶處門外止宿艸菴自念貧事我無此物
父知子心漸已曠大欲與財物卽聚親族
國王大臣剎利居士於此大衆說是我子
捨我佗行經五十歲自見子來已二十年
昔於某城而失是子周行求索遂來至此
凡我所有舍宅人民悉以付之恣其所用
子念昔貧志意下劣今於父所大獲珍寶
并及舍宅一切財物甚大歡喜得未曾有
佛亦如是知我樂小未曾說言汝等作佛

にせつがーとう とくしよむーろー じようじゆしようじよう
而説我等得諸無漏 成就小乘 聲聞弟子
ぶつちよがーとう セツさいじようどう しゆしゆうしーしゃ とうとくじようぶつ
佛敕我等説最上道修習此者當得成佛
がーじようぶつきよう いーだいぼーさつ いーしよ いん ねん しゆじゆひーゆー
我承佛敎爲大菩薩以諸因緣種種譬諭
にヤツかんごんじー セつむーじようどう じよ ぶつ しーとう じゆうがーもんぼう
若干言辭説無上道諸佛子等從我聞法
にちやーしーゆい しよごんしゆしゆう ぜーじーしよぶつ そくじゆごーぎー
日夜思惟精勤修習是時諸佛即授其記
によおーらいせー とうとくさーぶつ いッさいしよぶつ ひーぞうしーほう
汝於來世當得作佛一切諸佛祕藏之法
たん二ーぼーさつ えんごーじつじー にーふーいーがーセツしーしんよう
但爲菩薩演其實事而不爲我說斯眞要
によひーぐうじー とくごんごーぶーすいちーしよもつ しんぶーけーしゆ
如彼窮子得近其父雖知諸物心不憊取
がーとうすいせつ ぶつぼうほうぞう じーむーしーがん やくぶーによぜー
我等雖説佛法寶藏自無志願亦復如是
がーとうないめつ じーいーいーそく ゆいりようしーじー きよつむーよーじー
我等內滅自謂爲足唯了此事更無餘事

がーとぅにゃくもん じょうぶつこくどー きょうけーしゅじょう とーむーこんぎょう
我等若聞 淨佛國土 教化衆生 都無欣樂
しよーいーしゃがー いッさいしよほう かいしツくうじゃく むーしようむーめつ
所以者何 一切諸法 皆悉空寂 無生無滅
むーだいむーしよう むーろーむーいー によぜーしーゆい ふうしようきーぎょう
無大無小 無漏無爲 如是思惟 不生喜樂
がーとぅちようやー おーぶツちーえー むーとんむーぢやく むーぶーしーがん
我等長夜 於佛智慧 無貪無著 無復志願
にーじーおーほう いーぜーくーきょう がーとぅちようやー しゅしゅつくうほう
而自於法 謂是究竟 我等長夜 修習空法
とくだッさんがい くーのうしーげん じゅうさいごーしん うーよーねーはん
得脫三界 苦惱之患 住最後身 有餘涅槃
ぶツしよきょうけー とくだうふーこー そくいーいーとく ほうぶツしーおん
佛所教化 得道不虛 則爲已得 報佛之恩
がーとぅすいーいー しよぶツしーとぅ せつぼーさつぼう いーぐーぶつどう
我等雖爲 諸佛子等 說菩薩法 以求佛道
にーおーぜーほう ようむーがんぎょう どうしーけんしゃ かんがーしんこー
而於是法 永無願樂 導師見捨 觀我心故
しよぶーかんじん セツツーじつりー によぶーちよつじゃ ちーしーしーれつ
初不勸進 說有實利 如富長者 知子志劣

いほうべんりき にゆつぶくごしん ねんごーないふー いっさいざいほう
以方便力 柔伏其心 然後乃付 一切財寶
ぶつちやくによぜー げんけーうーじー ちーぎようしようしや いーほうべんりき
佛亦如是 現希有事 知樂小者 以方便力
じよつぶくごーしん ないきようだいちー がーとうこんにち とくみーぞううー
調伏其心 乃教大智 我等今日 得未曾有
ひーせんしよもう にーこんじーとく によひーぐうじー とくむーりようほう
非先所望 而今自得 如彼窮子 得無量寶
せーそんがーこん とくどうとッかー おーむーろーほう とくしようじようげん
世尊我今 得道得果 於無漏法 得清淨眼
がーとうちぢやうやー じーぶつじようかい しーおーこんにち とくごーかーほう
我等長夜 持佛淨戒 始於今日 得其果報
ほうおうほうちゆう くーしゅほんきよう こんとくむーろー むーじようだいかー
法王法中 久修梵行 今得無漏 無上大果
がーとうこんじゃ しんぜーししようもん いーぶつどうししよう りよういっさいもん
我等今者 眞是聲聞 以佛道聲 令一切聞
がーとうこんじゃ しんあーらーかん おーしよせーけん てんにんまーぼん
我等今者 眞阿羅漢 於諸世間 天人魔梵
ふーおーごーちゆう おつじゅくーよう せーそんだいおん いーけーうーじー
普於其中 應受供養 世尊大恩 以希有事

れんみんぎょうけーりーやくがーとうむりりょうおっこうすいのうほうしゃ
憐愍教化利益我等無量億劫誰能報者
しゅそっくーきゅうずーちようらいきょういっさいくーようかいふーのうほう
手足供給頭頂禮敬一切供養皆不能報
にやくいーちようだいりょうけんかーふーおーごうじゃこうじんしんくーぎょう
若以頂戴兩肩荷負於恆沙劫盡心恭敬
うーいーみーぜんむりりょうほうえーぎっしょがーぐーしゅじゅとうやく
又以美膳無量寶衣及諸臥具種種湯藥
ごーずーせんだんぎっしょちんぼういーきーとうみょうほうえーふーぢー
牛頭栴檀及諸珍寶以起塔廟寶衣布地
によしーとうじーいーゆうくーようおーごうじゃこうやくふーのうほう
如斯等事以用供養於恆沙劫亦不能報
しよぶっけーうーむりりょうむーへんふーかーしーぎーだいじんづうりき
諸佛希有無量無邊不可思議大神通力
むーろーむーいーしよほうしーおうのういーげーれつにんヌーしーじー
無漏無爲諸法之王能爲下劣忍于斯事
しゅそうほんぶーずいぎーいーせつしよぶつおーほうとくさいじーざい
取相凡夫隨宜爲說諸佛於法得最自在
ちーしよしゅじょうしゅじゅよくぎょうぎゅうごーしーりきずいしよかんにん
知諸衆生種種欲樂及其志力隨所堪任

いむりょうゆーにーいーせつぼう
 以無量喻而為說法
 うーちーじょうじゅく みーじょうじゅくしゃ
 又知成熟未成熟者
 しゅじゅちちょうりょう
 種種籌量
 ぶんべつちーいー
 分別知已
 おーいちじょうどう ずいぎーせつさん
 於一乘道隨宜說三

みょうほうれんげーきょうかんだいにー
 妙法蓮華經卷第二